

県内農業高校生に対する出前授業を開始

農業大学校生への出前授業に加え、次代を担う農業高校生にもみどり戦略への理解を深めてもらうため、県農業振興部局及び県教育担当部局と連携して出前授業に取り組んだ。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略、食品流通

○ きっかけ・背景、課題の把握

農業を学ぶ高校生が、農業を魅力とやりがいのある産業と認識し、自らの意志で職業として農業を選択してもらえるよう、県内の農業高校と連携して取組内容を検討。

みどり戦略の実現に向けて、将来、中心的役割を担うであろう農業高校生にみどり戦略への理解を深めてもらいたいと考えた。

○ 取組の内容

県農業振興部担当課及び県教育委員会担当課と事前に協議を行い、取組への理解及び賛同を得た。

農業高校を訪問して、みどり戦略の説明を行い、同戦略及び対象生徒の専攻を考慮した内容として、食品の製造流通をめぐる情勢等を盛り込んだ出前授業を提案し、承諾を得た。

令和5年10月及び令和6年2月に拠点職員が講師となり、農業高校2校で出前授業をアンケートも含めて実施した。

○ 効果・成果、今後の方向性

アンケートでは、学生から「今の日本は地球環境の危機に直面していることやみどり戦略について知ることができた。」との感想を得られる等、同戦略への理解が深められたと認識している。

今後も次代を担う高校生等「Z世代」へみどり戦略への理解醸成に努め、併せて、みどり戦略学生チャレンジへの参加も推進していきたい。



授業の様子

体制図

